

天理大学（体育学部）

所在地：奈良県天理キャンパス

天理教の教祖（おやさま）の教えに基づいて、「陽気ぐらし」世界建設に寄与する人材の養成を使命とする。体育学部は、比較的少人数で教員と学生の距離が近く、公務員への就職も多い。宗教色の強い大学だが、受験に関してはそれほど気にする必要はない。

募集定員	体育学部	200名
------	------	------

入試方法	①推薦入試	②アスリート 選抜	③一般入試	④センター試験 利用入試
------	-------	--------------	-------	-----------------

募集方法		詳細	
推薦入試	70名	スポーツ特技A型	40名
		スポーツ特技B型	15名
		総合型	15名
特別入試	40名	天理アスリート選抜	40名
一般入試	60名	基礎運動能力型	35名
		特技型	25名
センター利用選抜	6名+a	前期	6名
		後期	若干名

入試スケジュール

		出願受付	試験日	合格発表
推薦入試	スポーツ特技A型	10/26-11/8	11/17	11/24
	スポーツ特技B型	10/26-11/8	11/17	11/24
	総合型	10/26-11/8	11/18	11/24
特別入学 試験	天理アスリート選抜<第1次>	9/11-9/19	—	9/29
	天理アスリート選抜<第2次>	10/2-10/17	10/28	11/2
センター 試験利用	前期	1/5-1/24	1/13・14	2/16
	後期	2/9-2/22	1/13・14	3/8
一般入学	基礎運動能力型	1/5-1/24	2/7・8	2/16
	特技型	1/5-1/24	2/7・8	2/16

① 推薦入試

種類	出願要件（抜粋）	必要書類	選考方法
スポーツ特技 A 型	<p>体育学部志願者のうち、スポーツ特技 A 型はつぎの(1)(2)に加えて(3)にも該当し、本学を専願とする者とし、スポーツ特技 B 型は(1)(2)に加えて(4)にも該当する者で、併願も可とする。また、総合型はつぎの(1)(2)に加えて(5)にも該当する者で併願も可とする。</p> <p>(1)本大学の建学の精神を理解しその趣旨にそう者 (2)つぎの各号の一に該当する学校を平成 29 年 3 月（平成 28 年度）から平成 30 年 3 月（平成 29 年度）までに卒業（修了）した者および卒業見込み（修了見込み）の者で、出身学校長の推薦する者</p>		課題小論文 競技成績 調査書
スポーツ特技 B 型	<p>①高等学校もしくは中等教育学校 ②高等専門学校第 3 年次 ③学校教育法施行規則第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた文部科学大臣の指定する専門学校および専修学校の各高等課程 ④その他の前各号と同等以上と本大学が認める学校</p> <p>(3)体育学部志願者のうち、スポーツ特技 A 型は、つぎの①から④のいずれかの基準を満たす者</p> <p>①全国大会団体競技 16 位以上、個人競技 32 位以上、日本代表または優秀選手 ②ブロック大会（近畿大会など）団体競技 8 位以上、個人競技 16 位以上、ブロック代表選手または優秀選手 ③都道府県大会 1 位、全国大会出場者 ④その他全各号と同等の能力を有する者</p>	競技成績証明書 調査書	課題小論文 体育実技（特技） 調査書
総合型	<p>(4)体育学部志願者のうち、スポーツ特技 B 型は、スポーツの分野において積極的な活動を行い、専門種目での高い競技レベルを目指す者 (5)体育学部志願者のうち、総合型は、高等学校調査書の評定平均値が 3.5 以上で、かつ保健程度の評定平均値が 4.0 以上の成績を有する者</p>	調査書	小論文（文章読解型） 面接 体育実技（総合） 調査書

11 月 17 日 (スポーツ特技 A 型)	調査書	課題小論文 (800 字程度)	競技成績証明書	200 点満点
	50 点	50 点 (60 分)	100 点	

11 月 17 日 (スポーツ特技 B 型)	調査書	課題小論文部 (800 字程度)	体育実技 (特技)	200 点満点
	50 点	50 点 (60 分)	100 点	

11 月 18 日 (総合型)	調査書	小論文 文章読解型	体育実技 (総合)	面接	200 点満点
	50 点	50 点 (60 分)	50 点	50 点	

※調査書の計算では小数点以下は四捨五入する。

保健体育の評定平均値×5 + 全体の評定平均値×5

※体育実技（特技）は下記の 16 の実施種目の中から出願書類の「競技成績証明書」に記載した種目を選択する。

もし、自分の種目がない場合には「その他」を選び、特技に関する面接を行う。

※体育実技（総合）は、下記の3つの群より指定された方法で計5種目を選択する。

- ・Ⅰ群（4種目①～④）から2種目選択する。
- ・Ⅱ群（3種目⑤～⑦）から2種目選択する。
- ・Ⅲ群（3種目⑧～⑩）から1種目選択する。

体育実技実施種目

[スポーツ特技B型]

陸上競技／体操競技／水泳競技／バレーボール／バスケットボール／サッカー／ラグビー／ホッケー／硬式野球／テニス／ソフトテニス／バドミントン／ダンス／柔道／剣道／空手道／その他（前記以外の種目）

[総合型]

群	領域	種目	試験内容
Ⅰ	器械運動	①マット運動	次に示す一連の演技を行う 「片足水平立ち（2秒静止）、側方倒立回転～伸膝前転、倒立前転～その場とび 1/2 ひねり～後転倒立）
		②ハードル走	3台 男子 高さ838mm、インターバル6.5m or 7.5m 女子 高さ762mm、インターバル6m or 7m
	水泳	③クロール	25m
		④平泳ぎ	25m
Ⅱ	球技	⑤バスケットボール	ドリブルからのシュート
		⑥サッカー	ドリブルからのシュート、トラップからのシュート
		⑦バレーボール	アンダーハンドパス、オーバーハンドパス
Ⅲ	武道	⑧柔道	礼法、受け身、補助員を相手に指定された技を2種類（3回）行う
		⑨剣道	跳躍素振り、切り返し、正面打ち、面抜き胴
	ダンス	⑩創作ダンス	課題曲にあわせて約40秒踊る

② アスリート選抜

種類	出願要件（抜粋）	必要書類	選考方法
アスリート選抜	<p>つぎの1から6の条件をすべて満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.本大学の建学の精神にそう者で、各学科・専攻のアドミッション・ポリシー、教育目標、養成する人材像の趣旨を理解する者 2.本大学で学ぶことを強く希望し、第一志望で入学を志す者 3.全国大会、地区大会、都道府県大会において優秀な成績※1を残した者、またはそれに相当する能力があると認められた者 4.天理大学体育総部に所属する部の競技種目を高等学校在学中に課外活動として積極的にを行い、かつ入学後も体育総部所属の部において当該等種目のスポーツを継続する強い意志のある者 5.調査書全体の評定平均値が2.7以上の者（6.の(3)および(4)の者を除く） 	エントリーシート 調査書	<p><第1次> エントリーシート (出願書類) 調査書</p> <p><第2次> 面接</p>

募集競技種目

重点強化競技種目	体育学部強化競技種目
----------	------------

<ul style="list-style-type: none"> ●柔道（男女） ●ホッケー（男女） ●ラグビー（男子） ●硬式野球（男子） 	<ul style="list-style-type: none"> ●空手道 ●剣道 ●サッカー ●水泳 ●創作ダンス ●ソフトテニス ●ソフトボール ●体操競技 ●テニス ●バスケットボール ●バドミントン ●バレーボール ●ハンドボール ●陸上競技
--	---

③ 一般入試（前期）

種類	出願要件（抜粋）	必要書類	選考方法
基礎運動能力型	つぎの各号の一に該当する者 (1)高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および平成 30 年 3 月卒業見込みの者 (2)通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者および平成 30 年 3 月修了見込みの者	入学志願票 調査書 健康診断書 競技成績証明書 （特技能力型のみ）	外国語（英語） 国語 体育実技
特技能力型	(3)学校教育法施行規則第 150 条の規定により、高等学校を卒業したと同等以上の学力があると認められるものおよび平成 30 年 3 月までにこれに該当する見込みの者 なお、上記(3)の同規則第 150 条第 7 号により出願を希望する者は、平成 29 年 10 月 12 日（木）～11 月 10 日（金）までの間に、それぞれ個別の入学資格審査の申請を行うものとする。		外国語（英語） または国語 体育実技

試験日自由選択制 【基礎運動能力型】と【特技能力型】の 2 方式を別枠で募集

	教科	科目	配点	合計点	
基礎運動能力型	必須	外国語（英語）	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅱ	100 点	300 点
		国語	国語総合<古文・漢文を除く>	100 点	
		体育実技 （基礎運動能力）	9m往復走、両足三回とび、背筋力	100 点	
特技能力型	1 科目を選択 <small>（2 科目受験も可）</small>	外国語（英語）	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ 英語表現Ⅱ	100 点	200 点
		国語	国語総合<古文・漢文を除く>		
	必須	体育実技 （特技能力）	陸上競技／体操競技／水泳（競泳・飛込）／バレーボール／バスケットボール／サッカー／ラグビー／ホッケー／硬式野球／テニス／ソフトテニス／バドミントン／ダンス／柔道／剣道／空手道／その他（前記以外の種目）	100 点	

④ 一般入試（後期）

種類	出願要件（抜粋）	必要書類
後期	<p>つぎの各号の一に該当する者</p> <p>(1)高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および平成 30 年 3 月卒業見込みの者</p> <p>(2)通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者および平成 30 年 3 月修了見込みの者</p> <p>(3)学校教育法施行規則第 150 条の規定により、高等学校を卒業したと同等以上の学力があると認められるものおよび平成 30 年 3 月までにこれに該当する見込みの者</p> <p>なお、上記(3)の同規則第 150 条第 7 号により出願を希望する者は、平成 30 年 1 月 5 日（金）～1 月 15 日（月）までの間に、それぞれ個別の入学資格審査の申請を行うものとする。</p>	<p>調査書</p> <p>入学志願票</p>

教科	科目	配点	合計点
外国語（英語）	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅱ	1 科目を選択 （2 科目受験も可） 100 点	150 点
国語	国語総合＜古文・漢文を除く＞		
書類審査	「調査書」の提出が出来ない者は事前に入試課に申し出るものとし、「調査書」の代わりに「スポーツ活動報告書」を提出	50 点	

⑤ センター試験利用入試

種類	出願要件（抜粋）	必要書類
前期 <2 教科型>	<p>平成 30 年度大学入試センター試験において、本大学が指定する教科・科目を受験した者のうち、つぎの各号の一に該当する者。</p> <p>(1)高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および平成 30 年 3 月卒業見込みの者</p> <p>(2)通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者および平成 30 年 3 月修了見込みの者</p> <p>(3)学校教育法施行規則第 150 条の規定により、高等学校を卒業したと同等以上の学力があると認められる者および平成 30 年 3 月までにこれに該当する見込みの者</p> <p>なお、上記(3)の同規則第 150 条第 7 号により出願を希望する者は、以下の期間に個別の入学資格審査の申請を行うものとする。</p> <p>第 1 次 平成 29 年 8 月 22 日（火）～9 月 8 日（金）</p> <p>第 2 次 平成 30 年 1 月 5 日（金）～1 月 15 日（月）</p>	<p>入学志願票</p> <p>調査書</p>
前期 <3 教科型>		
後期 <2 教科型>		

<前期【2教科型】【3教科型】>

	教科	科目	配点	合計点	
2教科型	高得点の2教科2科目を選択	国語	「国語」(漢文は除く)	各 100 点	200 点
		地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」		
		公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」		
		数学	「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」		
		理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」		
		外国語	「英語」「リスニング」		

	教科	科目	配点	合計点	
3教科型	必須教科	国語	「国語」(漢文は除く)	100 点	200 点
		外国語	「英語」「リスニング」	100 点	
	選択教科	地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」	得点の高い 1科目 100点	
		公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」		
		数学	「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」		
		理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」		

<後期>

	教科	科目	配点	合計点	
2教科型	高得点の2教科2科目を選択	国語	「国語」(漢文は除く)	各 100 点	200 点
		地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」		
		公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」		
		数学	「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」		
		理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」		
		外国語	「英語」「リスニング」		